

大田の昔と“今”を見つめて

3年生は、総合的な学習の時間で、「大田のすてきを見つけよう」をテーマに学習しています。2月4日（火）は、学校を飛び出し、地域にお住いで歴史がご専門の園田博さんと一緒に、地域の貴重な文化財である“歳神社”“いなご供養塔”“田原家五重塔”を見学しに行きました。たくさんの地域の宝に触れ、満足気に学校に戻ってきたようです。



この日は、小雪交じりの天候で一段と寒さも厳しく、講師の園田さんに暖をとっていただこうと、校長室にお招きました。すると、3年生の子どもたちがたずねてきました。園田さんが小学生だった頃の大田の暮らしについて教えてほしいとのこと。予定外の校長室での講義が始まりました。

当時学校は、1クラス40人以上もいて、1学年2クラスあったことや、片道4～5キロの道のりを歩いて登下校していたこと、朝田地区だけでも店が5～6軒あったこと等の当時の様子や、今のように生活が豊かではなく、また、学校の登下校も長距離を歩いて通い、家に帰ると家の仕事の手伝いをする、そんな苦労した日々のことなど、園田さんは懐かしそうに、また楽しそうにお話してくださいました。子どもたちは、現在の自分たちの暮らしとはあまりにも違う当時の状況に驚いていました。

加えて、園田さんのお話ぶりから、苦労の中にも充実した日々を過ごされてきたことが垣間見え、子どもたちにも十分伝わったようです。

本校の子どもたちが、園田さんの年齢になったとき、小学校時代をどう思い浮かべることでしょう・・・「大変なこともあったけど、楽しく充実していたなあ・・・」、そんな思いが心に浮かんでほしいものです。



「うまい、うまい！」「できた、できた！」

～新一年生の体験入学～

2月7日（金）、来年度本校に入学する“大田こども園”的子どもたちが来校し、1年生の教室で体験入学を行いました。

1年生の教室に初めて入ったこども園のお友達。用意された椅子に座って正面を見つめ、緊張気味です。一方の1年生の子どもたちも、こども園の先生や保護者の皆さんがいらっしゃったからでしょうか、緊張の面持ちです。

前半は、1年生がこども園のお友達に、自分が使用している教科書を見せてあげたり、ランドセルを背負わせてあげたりしています。続いて、自分たちが学習したことでも教えようと、黒板に習ったひらがなや漢字を書いてみせたり、時計を読んだりして、紹介しています。



後半は、文房具を当てるクイズを1年生が出してこども園のお友達が答えたり、一緒にけん玉を作って遊んだりして楽しみました。



けん玉づくりでは、1年生が、「テープで、紐をここにつけるよ」と作り方を教えたり、「うまい、うまい！」「できた、できた！」と声をかけたりと、年下のお友達にやさしい眼差しを向けリードする、ちょっぴり頼もしいお兄さんお姉さんとしての姿がありました。



帰り掛け、私にこども園のお友達が、「けん玉が楽しかった」と語ってくれるなど、双方に充実した時間が流れたようです。

入学まで2か月を切りました。新入生にとって新たな環境に入っていくことは、大きな不安でしょう。しかし、頼もしくやさしい上級生がみなさんとの入学を待っています。どうぞ安心して入学させてくださいね。